

## ●環境調査の実施に関する説明会を開催しました

調布3・4・10号線沿線にお住まいの方を対象に、環境調査の内容、これまでの経緯、検討状況及び今後の取り組みについて説明する、「環境調査の実施に関する説明会」を開催しました。



### 【説明会開催の概要】

- ・日時：平成22年3月26日(金) 19:00~20:30
  - ・会場：調布市立若葉小学校体育館
  - ・来場者数：65名
  - ・説明事項：①本日の説明会の目的 ②事業の概要 ③環境調査の内容 ④今後の事業の流れ
- ※当日の配布資料は調布市のホームページに掲載しています。

### .....【環境調査の内容に関するQ&A】.....

#### Q1：造ることが前提の調査なのか。

A1：崖線の現状を把握するための調査である。

#### Q2：環境調査の結果、造るのをやめる基準はあるのか。

A2：調査の結果、影響が予想される場合、構造を複数検討する中で、回避や低減などの対策を一緒に考えていきたい。

#### Q3：都条例では4車線以上の道路が環境影響評価の対象だが、千葉県では自然公園の場合2車線でも対象になる。

A3：国の法律、都の条例とも一定規模以上の道路が対象。市では、それに漏れるものについてきめ細かい対応をしていることを検討している。

#### Q4：予測評価はどのように行うのか。具体的には、森が伐られることを最も心配している。現況測量等の説明会の時にその範囲が2,000㎡と言っていたが、この影響がどのような形で把握されるのか。

A4：2,000㎡という数字は、幅員16mから計算したものの、実際にそうなるのかは、構造とともに一緒に考えていく。景観について、フォトモンタージュを作りながら一緒に検討していきたい。

#### Q5：今回の調査は、環境アセスメントと実質的に同じことではないか。

A5：調査は現状を押さえることが目的。道路構造を検討する際の判断基準の一つとして予測評価は必要。ただし、都条例に基づくものではなく市独自で行なうもの。

#### Q6：調査項目が挙げられているが、住民たちが大事と思える「環境」とは何かということ調査する予定はないのか。

A6：今回の調査項目は、都条例を参考にした。道路の構造によっては現地調査に追加が必要。その都度対応したい。

#### Q7：何のために環境調査を行うのかも一度教えて欲しい。

A7：環境に十分配慮した道路構造を検討するために行う調査である。

#### Q8：調査項目に温室効果ガスが入っていないのはなぜか。

A8：調査項目は都条例にある程度準拠しており、都条例では温室効果ガスは省かれている。

#### Q9：大気質や振動など、調査の地点数や頻度が少なく、代表性を持っているとは思えない。予算がないと言うが、正しい評価ができないならやらない方が良い。大気汚染で言えば環境のいちばん汚れているところをまず測るべき。子供や年寄りがあるので基準を守ってほしいという問題ではない。喘息患者の増加まで予測すべき。

A9：必要な項目、必要な回数を例えば大気では一番悪い時期を選ぶといったように効果的な測定時期を検討しながら対応していく。

#### Q10：市民参加とは一体何をやるのか。

A10：環境調査では、動植物や湧水の調査などにご協力をいただきたい。市民参加の場は、環境調査を先行しながら、平成22年度後半くらいに立ち上げていきたい。

#### Q11：調査の結果と道路の構造とはどういう関係にあるのか。

A11：例えば、トンネルにすれば、生態系への影響は軽減できるが、地下水への影響が出てくるといった関連性がある。

## ●創刊号の訂正とお詫び

2月に発行しました創刊号について、一部記述に誤りがありました。市民の皆様にご迷惑をお掛けしたことをお詫びします。区間表示について右記のとおり訂正するとともに、図面の訂正を含めた修正版を調布市のホームページに掲載します。

- 区間表示に関する訂正
- 創刊号1面(左側) 品川通りの未整備区間(誤)若葉町2丁目から世田谷区寄りの区間(正)若葉町2丁目から東つつじヶ丘2丁目の区間

## ●ご意見・お問い合わせはこちらまで

### 調布市 都市整備部街づくり事業課 (4/1に組織改正しました)

〒182-8511 東京都調布市小島町2-35-1 TEL:042-481-7587 FAX:042-481-6800  
電子メール:tokeido@w2.city.chofu.tokyo.jp

登録番号  
(刊行物番号)  
2009-288

調布3・4・10号線

# 品川通り通信

第2号

平成22年5月 発行:調布市

「品川通り通信」は、品川通り(調布都市計画道路3・4・10号線)の道路整備に関する、調布市から沿線のみなさんへのお知らせです。

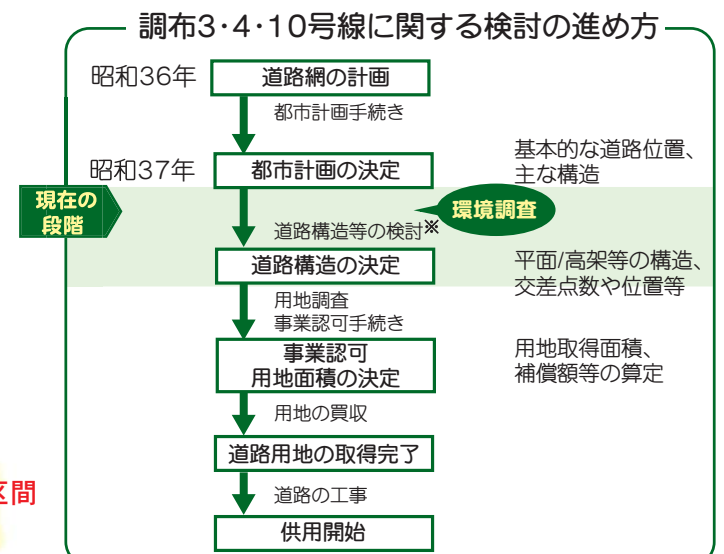
## ●環境調査を実施しています!

### ●環境調査の位置付けと目的

調布市では、国分寺崖線を横断する調布3・4・10号線(未整備区間)の道路構造等の検討に先立ち、現状の環境を把握するため環境調査を実施しています。



### ●現在の検討段階

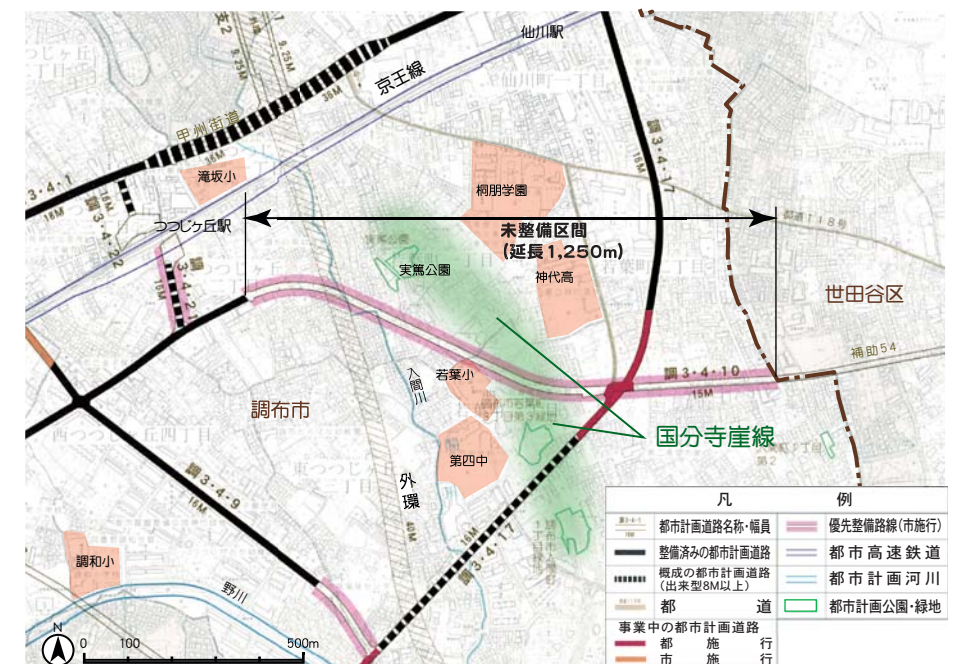


### ※ 道路構造等の検討段階で決めていくこと

- 道路の構造(盛土、高架、橋梁、トンネル等)
  - 交差点の数や位置
  - 歩道の有無・幅員・位置
  - 沿道敷地への取付け方
  - 環境対策
  - 防災対策
- など

### ●環境調査の項目

- ・環境調査では、既存資料調査と現地調査を実施します。このうち既存資料調査については整理を行っており、今年度は現地調査を実施します。
- ・現地調査を行う項目は、東京都環境影響評価条例を参考に、地域の概況及び本事業における行為・要因を考慮して「大気汚染」「騒音・振動」「水循環」「生物・生態系」「景観」の5項目を選定しました。



## ● 調査項目ごとの調査内容や方法

調査項目	調査内容	調査方法※1	地点数	現地調査の実施時期※2			
				春	夏	秋	冬
大気汚染	・ 二酸化窒素と浮遊粒子状物質 ・ 風向・風速と交通量	・ 大気質の状況、気象の状況の調査は自動観測とし、測定機器は調査ごとに設置・撤去	環境大気、沿道大気、風向・風速、交通量をそれぞれ1地点				○
騒音・振動	・ 環境騒音と振動 ・ 道路交通騒音と振動 ・ 交通量	・ 騒音・振動の調査は、歩道端などに1m×2m程度の範囲を使用して機器等を設置し、調査員が点検に回りながら実施	騒音：環境騒音は2地点、 道路交通騒音と交通量は1地点 振動：環境振動は2地点、道路交通振動は1地点				○
水循環	・ 湧水量	・ 湧水量は、水路部では流速と断面積を測定、湧出部では容器で単位時間の湧出量を測定して算定	湧水量を1地区		○		○
生物・生態系	・ 植物、鳥類、哺乳類、両生類、爬虫類、昆虫類、陸産貝類	・ 調査時間は、日中が原則 ・ 鳥類は早朝を中心に日中、日没後1時間程度まで ・ 哺乳類、両生類、爬虫類及び昆虫類は日中から夜間まで	計画路線周辺のうち主に国分寺崖線周辺	○	○	○	○
景観	・ 建築物、緑地、河川等の地域の主要な景観構成要素の位置や分布状況 ・ 一般的な眺望の状況	・ 現地調査や写真撮影等により視覚的に把握	計画路線周辺		○		○

※1 調査方法は現時点で考えられているもので、現地の状況により変更の可能性があります。

※2 平成22年4月上旬から順次、実施しています。

○大気汚染の調査イメージ



○騒音・振動の調査イメージ



○水循環の調査イメージ



○生物・生態系の調査イメージ



## ●参加型環境調査の実施

現地調査のうち、精度が求められる調査や特殊な機材を用いる「大気汚染」等の調査については、専門業者が調査します。

自然に親しみながら観察・調査を通して情報を共有できる「生物・生態系」等の調査については、市民参加型で行う予定です。詳細については、次回以降の『品川通り通信』等でお知らせします。

